

No.	16-4-1	場所	豊丘村河野	次世代への継承キーワード
名称	寺沢川の濁流で削られた岸			災害現象理解
災害現象	洪水氾濫・侵食			河川 寺沢川
補足事項				支流

**概要**

本来は梅雨の盛りのはずだが、田植えどころか水田の代かきもできないほど、春先からの少雨で水枯れの状態が続いた1961年（昭和36年）6月。ところが、23日夜から降り出した雨は「お湿り」どころか徐々に勢いを増し、下伊那郡豊丘村でも雨水を吸い込んだ山肌の土砂が部分的に大きな被害をもたらした。

中でも、県道伊那生田飯田線から4キロほど東側の山あいにあった河野地区の二丁集落では、27日午後の山崩れをきっかけに電灯が消え、村からの情報も途絶えた。土砂交じりで濁流と化した間沢川は、一晩の間に農地を根こそぎ飲み込み、川べりの幹線道路を全てえぐり取ってしまった。

●体験談：災害当時、豊丘村豊丘南小学校6年生

朝おきたら、きのうのことが夢のようなよい天気だったけれど、ていぼうの方をみると、まざまざと、きのうのことが思いだされた。

水害。水害。私は初めて、水のおそろしさを知った。水をためておけばおよげるし、飲料水にもなる水が、たくさんふえると、こんなにもものすごいものになるのだと、つくづくかんしんした。

「早く水がひけますように。」

と私は一生けんめいにいのった。神様は、私の願いをききいれて、下さったのか、それから二、三日してだんだんと水はひいていった。

（「濁流の子」p.133より）

**記録**

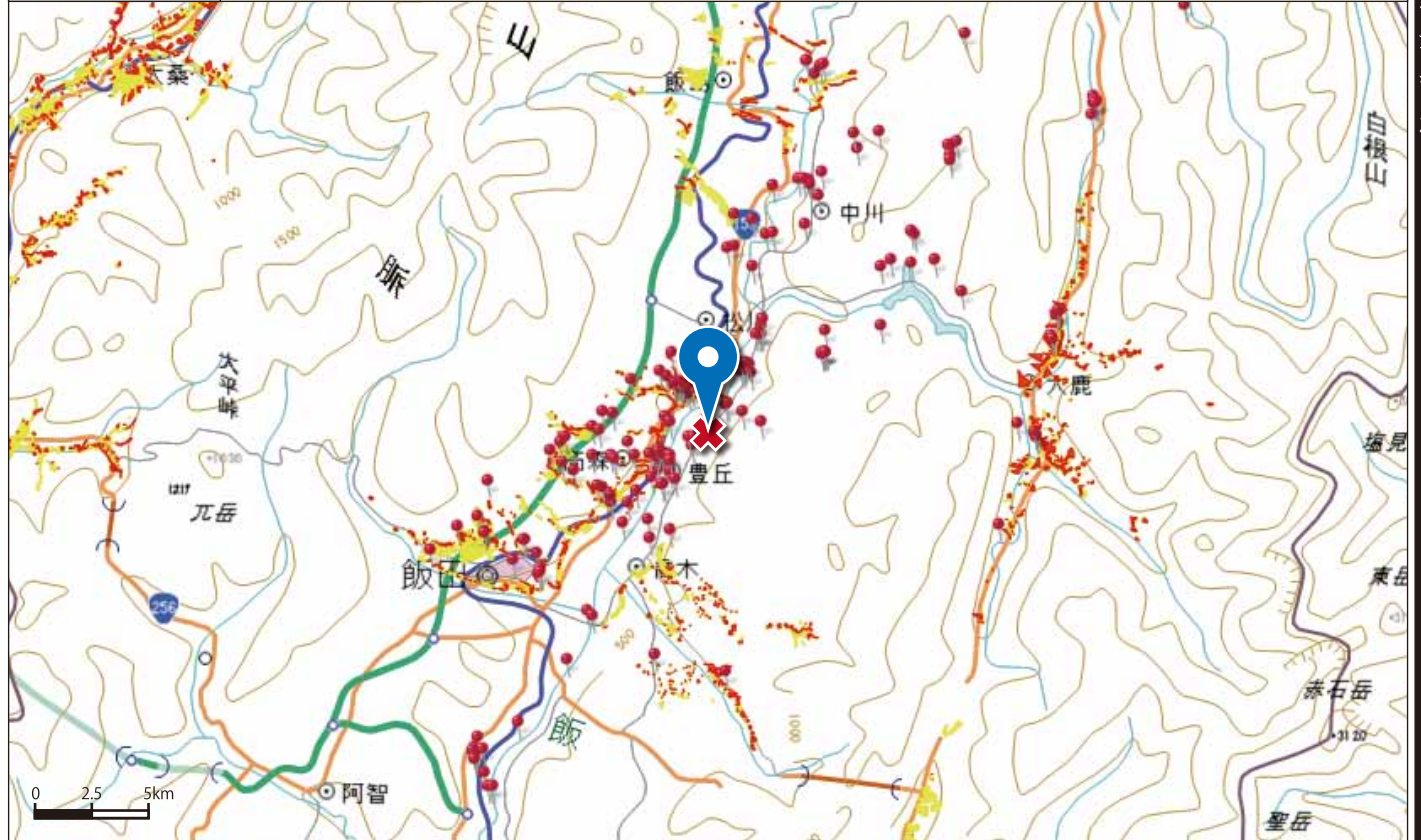


寺沢川の濁流により削られ、浸食してしまった岸

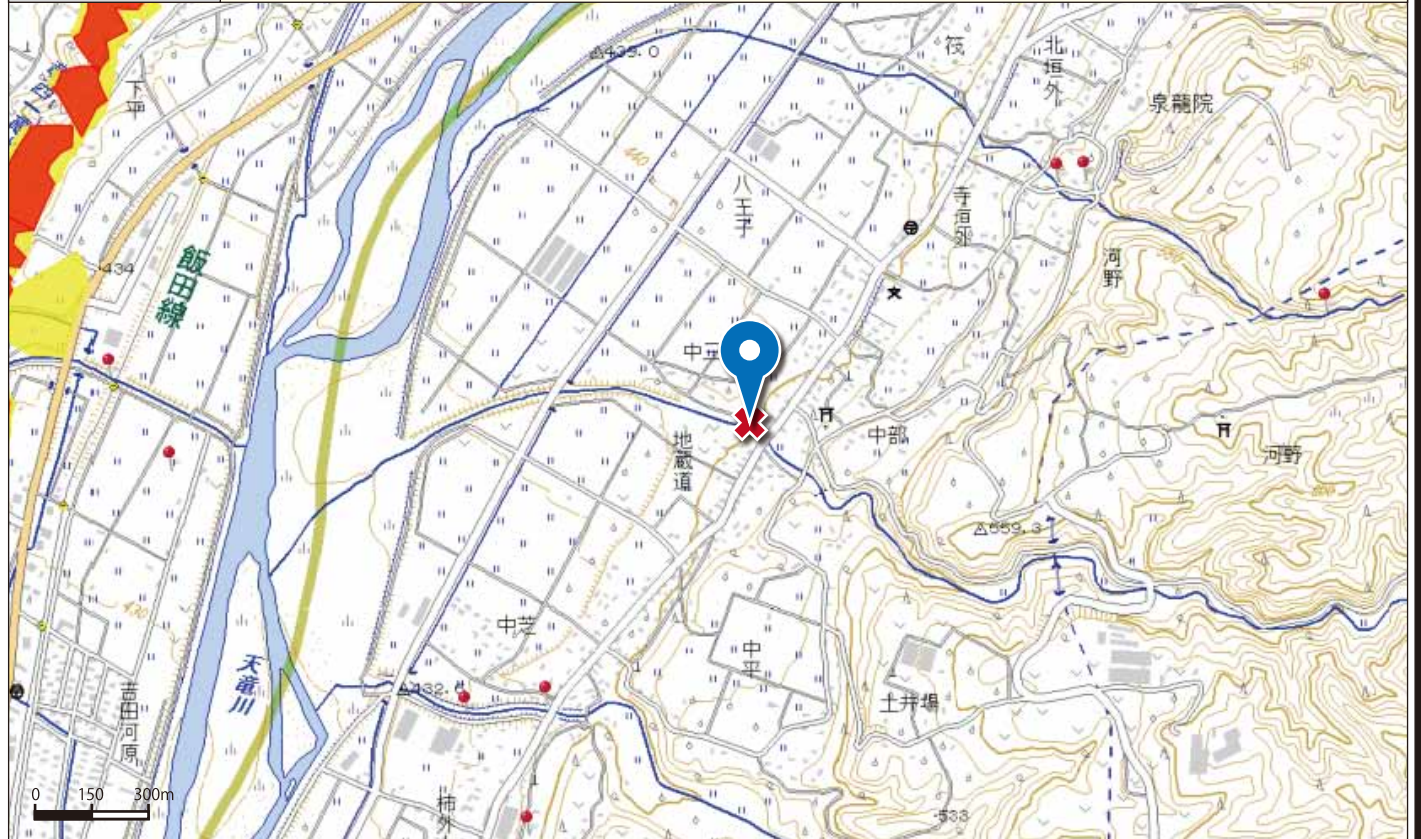
出典	「濁流の子」p.133			
備考				

No.	16-4-1	場所	豊丘村河野	緯度	35.562009
名称	寺沢川の濁流で削られた岸			経度	137.906321

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。